

Sendai

仙台リビング新聞社
リビング仙台

永山愛子
副編集長



創刊35周年企画が好評！
プレゼントに1000人以上の応募

創刊35周年を迎えた今年、社内でチームに分かれ企画を立案。編集チームでは、地元大学2校と夏休みに親子で学ぶ「リビングこども大学」を実施。3講座で定員は各10～15倍でしたが、すぐに定員を超えました。「また実施してほしい」の声が成功の証です。営業チームでは半13段の35周年特別枠を企画・販売し、好評。広告主からプレゼントを提供してもらい、温泉宿の宿泊券には1000人以上の申し込みが！読者にも広告主にも支持される企画を今後も考えていきます。

Fukushima

福島リビング新聞社
リビング福島 郡山

鈴木朱美
読者編集長



県内の全公立小学校444校で配布
三位一体の小学生新聞「てとて」創刊

福島県教育委員会の全面協力・監修により実現したリビング小学生新聞「てとて」の創刊。県内公立小学校444校全ての小4～6年生の手から家庭へと渡りました。子どもたちの学力の現状と課題、県独自の取り組みを丁寧に取材。学力向上に関する特集のほか、本県出身のプロスポーツ選手の紹介や親子で取り組む「福島県算数・数学ジュニアオリンピック」問題の記事などが高く評価されました。次号は3月に発行。「てとて」を通じて、地域・学校・家庭「三位一体」の教育をより一層推進します。

Chiba

サンケイリビング新聞社
リビング千葉

三山百合子
編集長



片付け・睡眠・女性ホルモン！
キーワードが刺さり100人を動員

4月、地元大型店の周年記念イベントのコラボ企画として、リビング主催「リビングオンナ女子まつり」を開催。特別セミナーで、アドラー心理学を応用した「片付ける極意セミナー」、睡眠と女性ホルモンについて学べる「未婚女子セミナー」などを企画したところ、このキーワードが刺さり、各々約100人が来場。満員の会場は熱気ムンムンに。そのほか28ブースの展示即売会「アート&ライフ」やワークショップも実施し、街と人、企業をつなぎ、千葉の街を大いに盛り上げました。

Tochigi

栃木リビング新聞社
リビング栃木

三井美紀
編集長



美と健康の無料体験&セミナーが好評！
「美活！宮女子力UPフェス」

“宮女”（宇都宮の読者）のみなさんのための美と健康のイベント「美活！宮女子力UPフェス」を年2回実施。8回目を迎えた昨秋は、特別協賛1社・協賛9社の協力で、華やかな結婚式会場を会場に開催しました。当日はストレッチやハンドマッサージなど協賛各社による「自分磨き」にまつわる多彩な無料体験サービスや女子力UPセミナーを楽しんで頂き、参加者全員に商品詰め合わせの来場プレゼントをお持ち帰り頂きました。約100人の参加者のほとんどが「大満足」「満足」と評価！！

Funabashi Narashino

サンケイリビング新聞社
リビングふなばし・ならし

三山百合子
編集長



船橋市民が一致団結して製作した映画「きらきら眼鏡」をプームアップ

船橋市制施行80周年記念事業の一環でもあり、船橋が舞台の映画「きらきら眼鏡」。日本映画史上例を見ないと言われるほど、多くの市民のチカラを結集して製作されました。リビングでも船橋市民を元気づけるべく、8/25号1面「わが街を元気にする20人」で、映画製作発起人や市の広報官が登場してもらい、映画についてアピール。9/1号終面ではクイズを盛り込み映画に関する特集を企画。その成果もあり、公開初日から3日間の前売り券が完売に。リビングも一役を担うことができました。

女性の笑顔と、地域

全国の「リビ 読者を動かす、

2018年も、全国の「リビング新聞」でオリした。女性の気持ちに寄り添い、地域に密とことん追求し続けている各地の編集長たち

Saitama

サンケイリビング新聞社
リビングさいたま

根松敦子
編集長



創刊45周年記念のバスツアー
受け付け開始から5分で満席に！

限定45人x4500円のバスツアーは、受け付け開始から5分で満席。キャンセル待ち40人、その日だけで50人以上をお断りするというヒット企画に。ツアーのメインを「工場見学を始めた」と話題になったクラブフィール「COEDO」の新工場にしたこと、地元企業の協賛が付き低料金で募集できたことが勝因。参加者からは「楽しかった」、ほか、「（ツアーで知った商品は）また購入したい」との声が多数で協賛社からも高評価。読者と地元企業をつなぐ実りあるツアーが実施できました。

Kashiwa

サンケイリビング新聞社
リビングかしま

飯塚香織
編集長



創刊2000号記念で名店とコラボ！
読者限定“ごほうびランチ”に予約殺到

7/28日で創刊2000号を迎えた「リビングかしま」。そこで、ミセスだけの名店5店に読者限定「2000円ごほうびランチ」をリクエスト。どのお店も、愛情たっぷりの豪華メニューを考案してくれました。「2000円だとミセスにはちょっとお高め?」と、企画段階ではドキドキでしたが、8月の猛暑が続く中、約490件の予約が殺到。「リビングに載っているお店はハズしなし!」と読者も名店のうれしい声も。納得の企画には、読者も名店も動く…。地元「リビングかしま」あり!と実感しました。

の魅力を引き出した!

ング新聞」発 “価値”あり企画

ジャーナリーあふれる企画が多数生まれま着しながら、“今、求められていること”をちが、イチ押ししたヒット企画を紹介します。

Musashino

サンケイリビング新聞社
リビングむさしの

児玉あゆこ
編集長



創刊2000号記念最強コスパランチ
2000円でいきたい!が爽快

創刊2000号記念に7/28号巻頭特集で「吉祥寺最強コスパ2000円ランチ」を実施。通常編集記事でしか載らないような地元人気店にもセールス10店を掲載。ランチ2000円はやや強気ですが、「2000円でも行きたい!」と思わせる高コスパな内容になるよう店にお願い。結果「毎年夏は売上が落ちるが前年同比180%。新規顧客開拓になりリビングのおかげ!」「地元ホテルは普段行かないがこの機会に行きたらとてもおいしくて得した気分!」等の声。広告主・読者共にいい企画になりました。

DenenToshi

サンケイリビング新聞社
リビング田園都市

町田洋子
編集長



横浜らしさを感じる新しい店&老舗店で
学びながら味わうイベント

小規模ながら、読者に満足いただけたイベントが2つ。1つは横浜初のフィナーレでの「醸造所見学とワイン試飲」。都市型ワイナリーを作ったきっかけや苦労話など、オーナーの話を参加者からは熱心な質問が。もう1つは元町の老舗フレンチレストラン「露宿樓」での食事会。総料理長の実演付きで、総料理長と記念撮影を希望する人の列ができるなど、盛り上がりました。どちらも学びながらおいしく味わえる内容で、満足の声が多数。今後のイベントもリピーターが増える期待大です!

Tama

サンケイリビング新聞社
リビング多摩

児玉あゆこ
編集長

地元在住「奇跡の68歳」に聞く
美のトーク&ランチイベント盛況

2018年4月、「ミセス日本グランプリ」60代部でグランプリを受賞した多摩エリア在住ミセスに、美の秘訣を聞くランチイベント(3500円)を開催しました。68歳には見えない美しさ(画像修正なし)とともに紙面に告知。募集はWebのみでしたが定員30人をはるかに超える応募が。セレクトショップ等の経営者でもあり、外見だけでなく、精神的若さ、ライフスタイルは女性注目の的。地元で知人不知人の素敵な女性を発掘し、読者と触れ合う機会や読者同士の交流の場を提供できました。

Machida Sagami

サンケイリビング新聞社
リビングまちだ・さがみ

増淵直子
編集長



女性の明日をもっと元気にしたい!
読者と地元企業を繋ぐイベント開催

「町田駅前イベントを開催したい」という長年の希望が実現!「アートなまちだ」と銘打って手作り品展示販売イベントを開催しました。会場は地元企業の協力で町田駅前、来場者約800人。アンケートでは9割の人が「満足」と回答してくれました。このイベントを機に地元企業とのコラボで月1回のカルチャー教室も実施でき、毎回高レスポンスに。読者と地元企業を繋ぐことで地域活性化にも一役。今後も「女性の明日をもっと元気に」をテーマに地元密着の活動をしていきたいと思います。

Tokyo

サンケイリビング新聞社
リビング東京都心 山の手 東京リビング

仁張裕美
編集長



こういう楽しみ方もあるんだ!
情報感度の高い読者を動かす

たまには、近場で非日常体験を…。そんな気持ちの読者の心に刺さったのが、「アートもグルメも両方満喫 美術館でランチ」「TOKYO 眺めのいいレストラン」の2つの記事。どちらも、「美術館で、絵画鑑賞だけではなくランチを」「心奪われる“絶景”を都内で気軽に」という内容で、「いつもの場所に、こういう楽しみ方もあるんだ!」とトレンドに敏感な東京の読者たちからも高い注目を集めました。これからもリビング読者のココロもラダも動かす紙面・イベントを展開していきます!

Yokohama

サンケイリビング新聞社
リビング横浜 横浜南

山内綾子
編集長



読者の「自分では難しい」をキャッチ
企画にしてヒット商品が生まれます

編集部では横浜在住の主婦や働く女性たちと、会議や交流会などを毎月開催。そのときに出る読者のちょっとした意見やつぶやきが、ヒット企画につながっています。応募が定員の10倍を超えた「狂言鑑賞×特別懐石ランチ」は、読者の「由緒ある「横浜能楽堂」に前から行ってみたい。でも一人で行くには敷居が高い」「舞台観賞とともに楽しめる素敵なレストランを探さない!」との声で企画。参加費が1万円と高額ながら、432人の応募がありました。読者のつぶやきこそ、ヒットを生む卵です。

Shizuoka

静岡リビング新聞社
リビング静岡

松永恵理

台風も気にせず400組近くの親子が来場
「子育て親子ハッピーフェスタ2018」

昨年9月、未就学児を持つ保護者とその家族を対象に「子育て親子ハッピーフェスタ2018」を開催しました。開場と同時に人であふれ、子どもは輪投げや駄菓子釣り、ママにはうれしいサンプリング。体験教室では、何度も参加する子どもも！ 静岡県では、家族間のコミュニケーションを深めることとして「家族の日」を推奨し、その一助にもなりました。台風が近づきましたが、400組近くが参加。事前申し込み者には親子でもらってうれしいお土産を用意するなどの工夫もキモだったと思います。



Nagoya

名古屋リビング新聞社
リビング名古屋中央 名古屋東山の手
名古屋みなみ 名古屋ノースエスト

島田文美子

創刊20周年記念・パン&焼き菓子
20店舗とコラボして限定販売！

4月で創刊20周年。地域と読者に支えられてきた感謝の気持ちをこめて企画したのが「コロボパン&焼き菓子」です。地元で人気のパン・焼き菓子20店舗と、スペシャルなアイテムを作り1個200円で販売。ハートモチーフか、数字「20」を盛り込んでもらい、各店の個性が光るコラボアイテムが完成しました！ 売り切れで追加販売したという声も届きうれしい限り。また、店頭に飾ったポップのロゴは、読者がアイシングクッキーで制作してくれたもの。みなさんのリビング愛に感謝する20周年です。



Shiga

滋賀リビング新聞社
リビング滋賀

山本和子

一人で始める？二人で始める？
これからのことを考える機会に

2014年からスタートさせ、今回で9回目となる「終活セミナー」。紙面のみの告知で毎回応募多数で抽選となります。第9回のテーマは「ひとり始める終活、ふたりで始める終活」。毎回会場となるホテルのケーキとドリンクを出すこともあり、夫婦での参加は数組ありますが、女性の参加が多数。そして、受け付け時に個別相談についての問い合わせが多いのも、セミナー後の個別相談会に参加されるものほとんどが女性。このように女性が積極的に参加してくれるイベントとなっています。



Okayama/Kurashiki

岡山リビング新聞社
リビングおかも・くらしき

東田実永子

子ども食堂やフードバンクなど
全国的なトピックスを「岡山目線」で

昨年から紙面展開している「岡山でつながろう」シリーズでは、子ども食堂やフードバンク、大人の発達障害など全国的なトピックスを地域目線で取材。問題を身近に感じ、知識や理解を深めるとともに、自分にできることは何かを考えてもらうきっかけになっているようです。中でも子ども食堂の紹介後は、参加者が増えたのももちろん、ボランティアの提供を名乗り出る方も。取材先では合言葉のように「みんなに読まれるリビング新聞」と喜ばれています。



Fukuyama

福山リビング新聞社
リビングふいよま

綿谷千恵子

育児などで、自分のことが後回しの
女性に「レディース健診」を

妻・母・社会人として多忙で自分のことは後回し、健康診断を受けるタイミングを逃している女性に受診の機会を——、医師会とのタッグで5年前に始まった「レディース健診」。関わる人はすべて女性で、託児付き。受診者の募集は市の広報・HPとリビングで行いますが、約8割は「リビング」を見て。毎回初めて健康診断を受けるという人も多く、「女性医師の診察を名乗り出る方も。取材先では合言葉のように「みんなに読まれるリビング新聞」と喜ばれています。今後も発信していきます。



Hiroshima

広島リビング新聞社
リビングひろしま

高山由美子

子どももパパもドキドキワクワク
魚のしご講座&魚市場見学ツアー

パパの家事参加を応援するコラム「パパ家事サイエンス」。さまざまな家事を紹介する中で、魚に注目。「魚食」推進を図る広島魚市場との共催で昨年8月に「魚魚うまっ！ しご講座&魚市場見学ツアー」を実施しました。朝4時集合という早さながら、定員30人に対して応募547人の人気ぶり。子どももパパも地魚・イワシのさばき方にドキドキ、親子体験で大盛り上がり。海鮮丼も食って満足。動画も撮影・アップし、リビング新聞のイベントの良さをPR。新企画の足掛かりにもしていきます。



Kyoto

京都リビング新聞社
リビング京都

山舗恵子

百貨店1階でカルチャー講座を紹介
オープンな気軽さがウケました！

大丸京都店とのタイアップイベントとして開催した「お手カルチャー」。1階の特設会場で、リビングカルチャー倶楽部の講座を紹介しました。1日3回各120分。体験講座ではなく、講座の内容を講師がさまざまな手法で「紹介する」というもの。入退場自由で、リビング読者や百貨店の来店客などが入れ替わり立ち替わり参加。美輪プランナー3級講座、ハーバラム認定講座、デコ巻き寿司など話題の講座をピックアップしたこともあって、1週間の期間中、終始人だかりができて大盛況でした。



Osaka

サンケイリビング新聞社
リビング大阪きた 大阪みなみ 大阪

城山千尋

教育への意識が高い読者が集まる
恒例の小学生親子向け夏イベント

今年で6年目を迎えた小学生親子対象のイベント「リビング子ども科学大学」。今年は「科学」の冠を取り「リビング子ども大学」として、公立私立、計4大学の協力を得て開催。定員125組に対し982組の応募と、またもや狭き門になりました。人気の理由は、実際に大学の構内で実験や実習を体験できること。教育に関心の高い親子を動かす企画となっています。当日は、学ぶ意欲満々の小学生の姿に大学の方々も感心しきり。また、この応募者を集めたメール会員組織は現在約4000人に育っています。



Hokusei

サンケイリビング新聞社
リビング北摂 北摂ひがし

伴晴香

愛する北摂から100年時代の幸せを！
初イベントに1000人以上の来場が

人生100年時代の幸せを地域とともに考える——をテーマに、編集・営業が丸ごと取り組んでいる「HOKUSETSU しあわせ20」プロジェクト。10月には地元ホテルで、本部新設初のシンポジウムイベントを実施しました。人生100年時代のフロントランナーとして、83歳の現役デジタルクリエイター・若宮正子さんを招いた講演会には、定員の3倍もの応募が殺到。リビングカルチャー倶楽部新教室のおもてなしや地元クラフト作家ブースも大いにぎわい、来場者は1000人を超えました。



Takamatsu

高松リビング新聞社
リビングたかまつ

谷本小百合

お宝ゲット、青空ショット
アクティブなイベントが強い

夏は自然豊かな公園で、1枚の宝札を見つける「ファミリー宝探し大会」。秋は華熱な熱戦が繰り広げられるしディスゴルフ大会。どちらも想像を超える申し込み数で、5回目となる宝探しは定員4000家族に増員したところ、過去最高547家族2025人の応募を記録。豪華賞品をゲットした読者の笑顔がみんなの励みとなりました。自イベントの中でも、宝探しはお父さんが子どもに存在感を示せる日。ゴルフは女性自身が輝ける日。大人が主役になって楽しむ機会が求めていることを実感しました。



Matsuyama

えひめリビング新聞社
リビングまつやま

宮本 舞

やっぱり肉が好き!?「肉検定」で
食欲もメルマガ会員もマシマシ

昨年4月に始動した「リビングえひめweb」.ファンを増やすべくリビング新聞と連動したサイト作りを行っています。9月末には、肉検定をチャレンジすると肉が当たるプレゼントキャンペーンを実施。300件を超える応募があり、この時期のメルマガ会員は一気に約80人増えました。紙面では肉の部位や選び方、地元ブランドを紹介し、ウェブでは検定に挑戦してもらえる展開に。特集後、夏の猛暑と大雨で食欲減退気味だった読者に、食欲が戻った様子。「肉力」を実感しました。



Kitakyushu

西日本リビング新聞社
リビング北九州

植田詩生

紙面を飛び出し、街なかへ！
双方向交流スペース「よんご。」

創刊45周年を記念し、読者にもっと寄り添った地域密着型の生活情報紙でありたいの思いから、地元商店街内に双方向交流スペース「よんご。」を期間限定で開設中。全国のリビングを展示したり、講座やイベントを行ったり、街なかに出て情報発信することで、読者ももちろん、リビングを知らなかった人にも気軽に立ち寄ってもらえる場となり、新しい出会いが日々生まれています。毎週発行日に足を運んでくれる常連さんも増え、「長く続けてほしい」という嬉しいアンケートも！



Kobe/Hanshin

サンケイリビング新聞社
リビング神戸あし 神戸あかし 阪神 阪神ひがし

大音彩子

「読者限定」と「お得感」に反応して
1カ月で2000食を販売

10月・11月に、神戸・阪神間のホテル15社とのコラボ企画「リビング別注ランチ」を実施。料金は2500円・3000円・3500円(各税・サービス)から選択、味にもコスパにも敵いない読者に納得してもらえらる限定メニューを作ってもらいました。料金や食材の見直しなどの提案もした結果、読者からは「特別感・お得感がある」、ホテルからは「新規顧客の開拓につながった」と、双方から好評でした。1カ月で約2000食(翌月の予約分を含む)を販売。「お得感」を伝えることの大切さを改めて実感しました。



Wakayama

和歌山リビング新聞社
リビング和歌山

野田知世

女子編集部員が考えたプチ旅プラン
好評につき続々と追加開催を決定！

働く女性を応援するコーナー「ワーキングライフ」で、自分のために有給休暇を取って有意義に過ごしてもらおうと「かわいひKYOTO 大人女子旅」を企画(9/15号掲載)。京都市内の町家改装したブルバブや有名シヨクラショップ、SNSで話題のフォトジェニックな寺院など、女子編集部員がお出かけ先を厳選した一日旅が好評。告知とともにすぐに定員25人で、双方から好評でした。1カ月で約2000食(翌月の予約分を含む)を販売。「お得感」を伝えることの大切さを改めて実感しました。



Himeji/Kakogawa

播磨リビング新聞社
リビング姫路 加古川

佐治彰一

地元「パンブーム」の火付け役!?
SCコラボ「パンまつり」イベント

「パン特集をしてほしい」という読者の声から播磨のパン本を出版したのが2016年春。そこからリビングの姫路パンムーブメント創出事業が始まりました。地域密着の取材力、営業力を生かし、地元で人気のペカリーを一堂に会した「パンまつり」。百貨店から姫路駅直結のSCにステージを移し今では春と秋の恒例イベントに。2018年秋は約9千個のパンが即時売完。弊社運営の地域情報サイト「PANOSU」も連携し、新聞配布エリア外の方にもしっかりと捕捉できるようにになりました。



Fukuoka

西日本リビング新聞社
リビング福岡

前田和美

地下鉄色&オリジナルティ―遊れる
大型プレゼントに応募3888件

弊社発行の福岡市地下鉄沿線情報紙「Subクリップ」9/28号で、地下鉄利用者40万人突破記念キャンペーンを実施。女性に喜ばせような沿線の人気店や施設10カ所に交渉し、そこで使える2000～5000円分のチケットを記念ICカードとセットで用意。地下鉄ならではの賞品として、実際に使われていたつらや車庫シートも提供してもらい、22種類400人にプレゼント。読者以外の幅広い層も取り込み、応募総数3888通、一番人気は宮崎牛鉄板焼きステーキ5000円チケット(848通)でした。



Kumamoto

熊本リビング新聞社
リビング熊本

松田恵美子

特上ひつまぶしの半額クーポン
1カ月で2223枚も使用

熊本の紙面では毎月1回「特典付グルメ」企画を実施。9月に初出稼いだ地元の老舗うなぎ専門店の記事型広告で、創業40周年を記念して、全メニュー500円引きを紹介。さらに、クーポンでは「特上ひつまぶし」通常4000円を半額で提供する内容を盛り込んだところ、1カ月で2223枚の利用が。ひつまぶしの写真のトリミングにもこだわり、丁寧に色調整。広告主から写真の美しさにも評価をいただき、連日行列が絶えない盛況ぶり！と高いレスポンスに驚かれました。



Kagoshima

南日本リビング新聞社
リビングかしま

内村由美子

明治維新150年で沸いた鹿児島
薩摩ゆかりの京都旅がシニア層に好評

明治維新から150年。大河ドラマ「西郷どん」も放送され、歴史への関心が高まる中、女性目線で歴史を見つめ直すプロジェクトを数多く実施しました。中でも注目は薩摩ゆかりの京都を巡るオリジナルツアー。特別公開や食事処にこだわった結果、かなり高額なツアー。ところが募集開始30分で定員に達し、その後キャンセル待ちが相次ぎました。参加者の多くはお金にも時間にも余裕があるシニア世代。安さではなく、中身勝負のプレミアムな商品開発の重要性を実感しました。

